

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および
K P I 実績値の公表について

- 当組合は、地域密着・健全経営・人材育成を理念のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの生活設計とニーズに応じた商品・サービスを提供し、豊かな生活づくりに貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ「組合員・利用者本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

(注) 共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（J A 共済連）が共同で事業運営しております。

大船渡市農業協同組合

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注)、原則6本文および(注2、3、6、7) 補充原則1~5本文および(注)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取り入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします。
- なお、組合員・利用者の皆さまの最善の利益の実現につながる取組として、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始予定です。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2025年3月末時点)>

<商品選定の考え方>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	8 (前年度末：8)
株式型	4 (前年度末：4)	6 (前年度末：6)
REIT型	2 (前年度末：2)	3 (前年度末：3)
バランス型	10 (前年度末：10)	

- 1.長期投資 長期投資を前提とした投資信託であること
- 2.手数料 手数料が良心的な水準であること
- 3.運用実績 過去の運用実績が総体的に良好であること
- 4.将来性 資産形成層には、過度に分配金を捻出する投資信託でないこと
- 5.運用体制 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

※商品選定の考え方：JAバンクHP
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi/sintaku/select/>

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、
原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1~5本文および(注)】

- 当組合は、組合員・利用者の皆さまが、生活や農業を取り巻く様々なリスクに対して、安心して備えられるよう、最良・最適な共済仕組み・サービスを提供します。
- 住宅価格の高騰により連帯債務での住宅ローン利用者が増えています。こうした状況を踏まえて、団体信用生命共済においてより充実した保障が可能となる連生タイプの取扱いをしております。
- 市場リスクを有する共済の仕組みの提供は実施しておりません。
- 総合満足度は令和7年度1月末時点で95%となっており、高水準を維持しております。
- 当組合の共済事業は、全共連との共同運営となっております。事業運営にあたり、お客さまの声や顧客情報等について相互に連携し円滑な業務遂行とサービス向上に役立てております。

I.取組状況

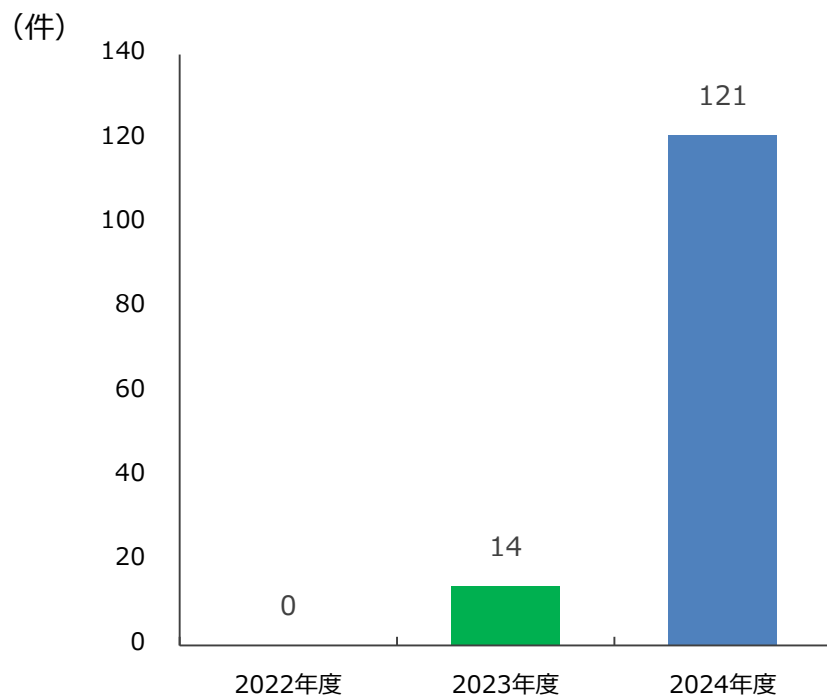
2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、
原則6本文および(注1～7)】

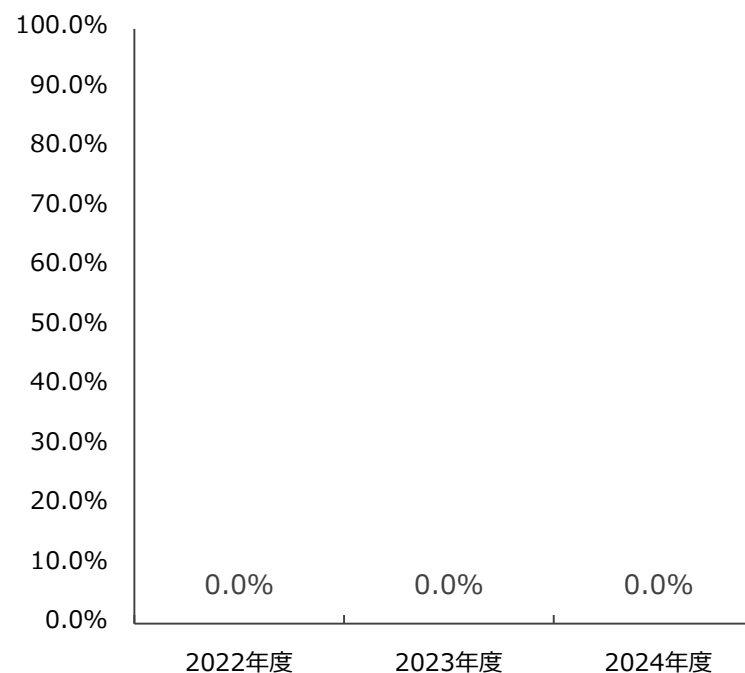
(1) 信用の事業活動

- 組合員・利用者の皆様に安定的な運用成果をご享受いただくために、組合員・利用者の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が増加し、「毎月分配型ファンド」を選択される組合員等はありませんでした。

<投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

- 共済仕組み・サービスの提案にあたっては、組合員・利用者の皆さまに対して、各種公的保険制度等にかかる情報提供を行い、推進資材を活用して一人ひとりの加入目的・ライフプラン等に応じた、最良・最適な保障・サービスを提案し、組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向を適切に把握しております。
- 保障の加入にあたっては、組合員・利用者の皆さまのご意向を的確に把握・確認したうえで、十分に保障内容をご理解・ご納得いただけるよう、分かりやすい重要事項説明（契約概要・注意喚起）を実施し、特にもご確認いただきたい事項や不利益情報を分かりやすくご説明しております。
- 特にご高齢の組合員・利用者の皆さまに対して、より丁寧に分かりやすくご説明し、ご家族も含めてご満足いただけるよう、ご契約時にはご家族の同席を徹底し対応しております。高齢者対応における同席率は令和7年度1月末で71.3%、電話等による親族確認を含めると高齢者対応実施率は93%となりました。
- また、令和7年度から新たに「共済契約のお手続きに関するご案内」をお渡しし、ご契約者さま・被共済者さまだけでなく、ご親族の方にもご安心いただけるよう努めております。

I .取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

- 各種手続きの実施にあたっては、組合員・利用者の皆さまに分かりやすくご説明しております。
- 将来、ご自身によるお手続きが困難になった場合の備えとして、「指定代理請求人」にご家族を指定いただくことをご案内しております（生命総合共済の場合）。
- 令和5年度からは支払い請求手続きの簡素化を推し進めるなど、組合員・利用者の皆さまの利便性向上に向けて取り組んでおります。
- ご加入後も、日々の訪問活動を通じてより安心いただけるアフターフォローを実施するなど、組合員・利用者の皆さまに寄り添った取組みを実施しております。
- 保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまに手数料等をご負担いただいております。

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】

- 組合員・利用者の皆さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。
- 営業部門から独立した「リスク管理室」を設定のうえ、利益相反のおそれのある取引を特定し、利益相反を管理しております。
- 以下の観点で利益相反のおそれのある取引を類型化し、効率的に管理することで、遺漏なく利益相反取引を検知する体制を整えています。
 - ①組合員・利用者の皆さまと当組合の間の利益が相反する類型
(例：経済事業を利用する際の前提として、共済事業の利用を条件とする場合)
 - ②特定の組合員・利用者の利益を他の組合員・利用者の皆さまの利益より優先する取引
(例：接待・贈答を受け、または行うことにより、特定の取引先との間で一般的な水準から乖離した水準で取引を行う場合)

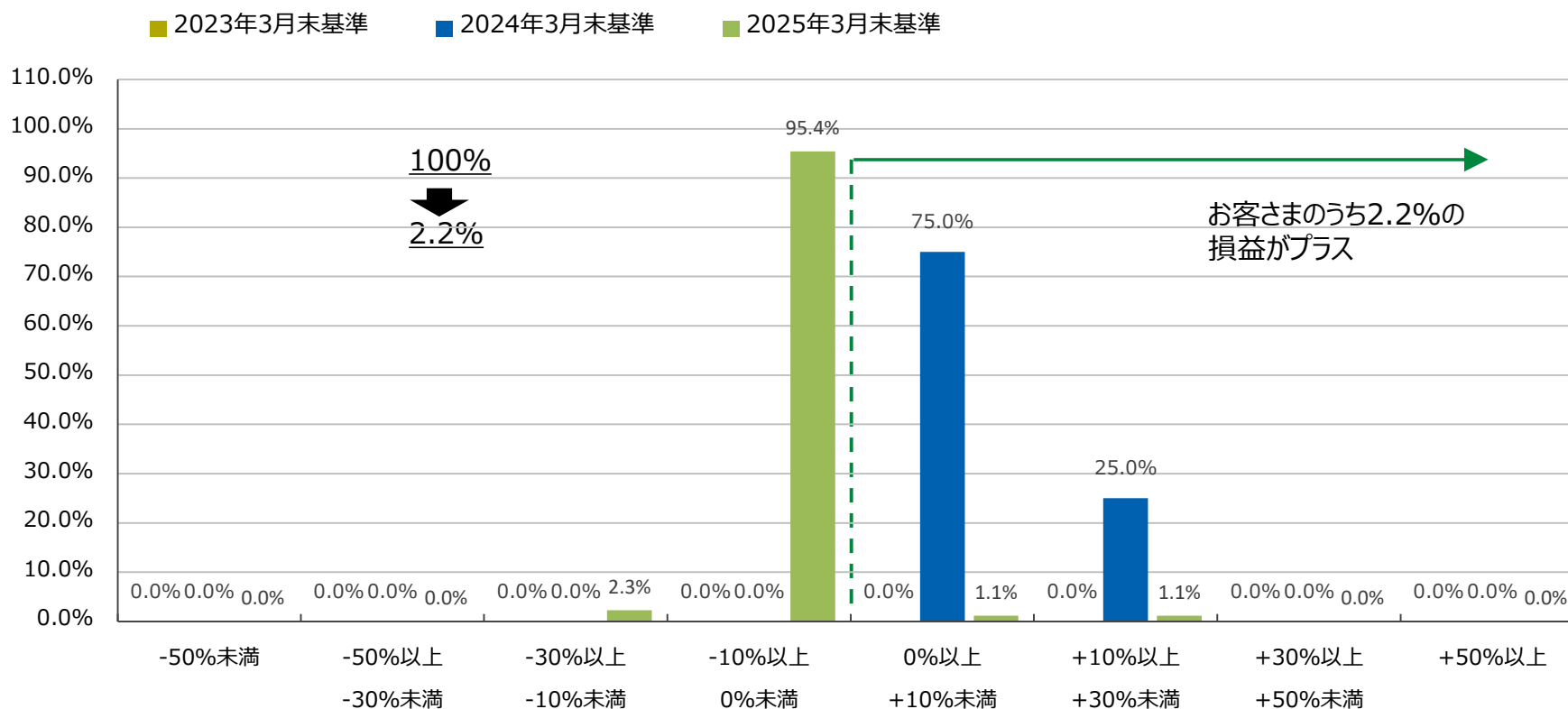
4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および(注)、原則6(注5)、原則7本文および(注)】

- 当組合は、職員に対する研修の充実や資格取得の支援など、人材育成に力を入れております。今後とも組合員・利用者の皆さまの立場に立った、より質の高いサービスを提供できる体制の構築に努めてまいります。
- 当組合は、組合員・利用者の皆さまからのご意見を業務運営へ適時かつ適切に反映させるため職員育成を行っております。今後とも業務改善に向けた職員育成体制の整備・運用を継続し、サービスの向上を図ってまいります。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 2025年3月末基準で2.2%のお客さまの運用損益がプラスとなりました。今回の実績の主な要因は、「運用期間が短く、市場の一時的な変動の影響を受けやすかったこと」、「世界情勢の不安定化に伴い、金融市場全体が厳しい環境であったこと」であります。

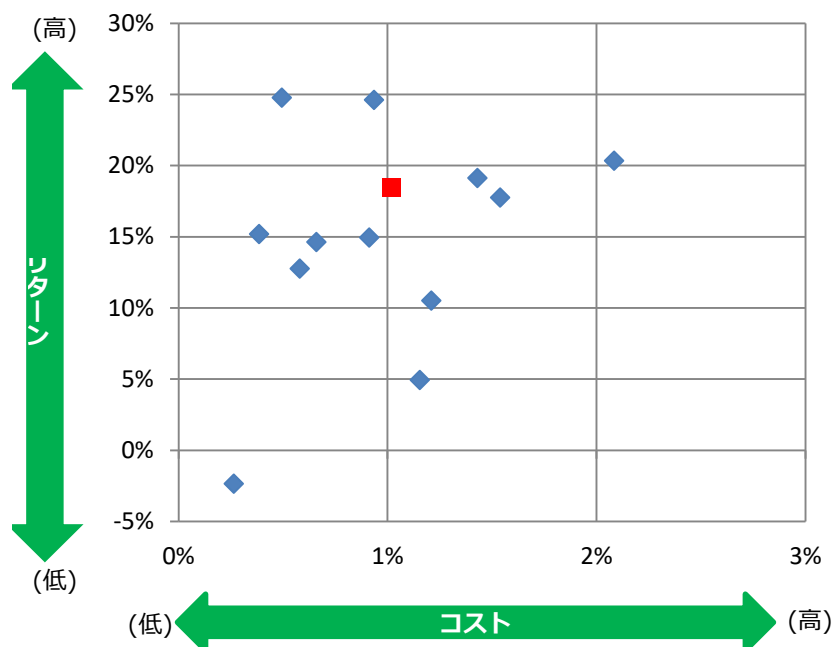


Ⅱ.比較可能な共通K P I

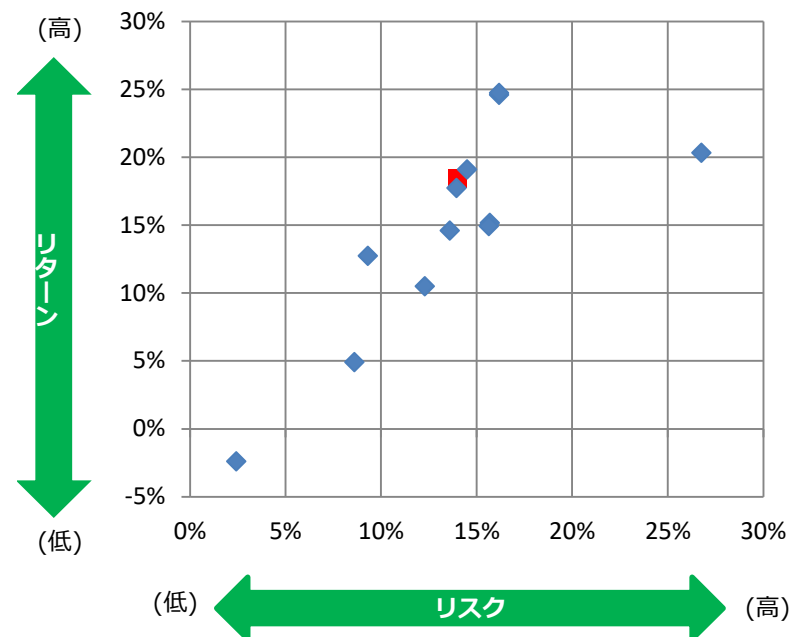
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/2) (2025年3月末)

- 当組合では、取り扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.02%、平均リスク14.02%に対して、平均リターンは18.41%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>

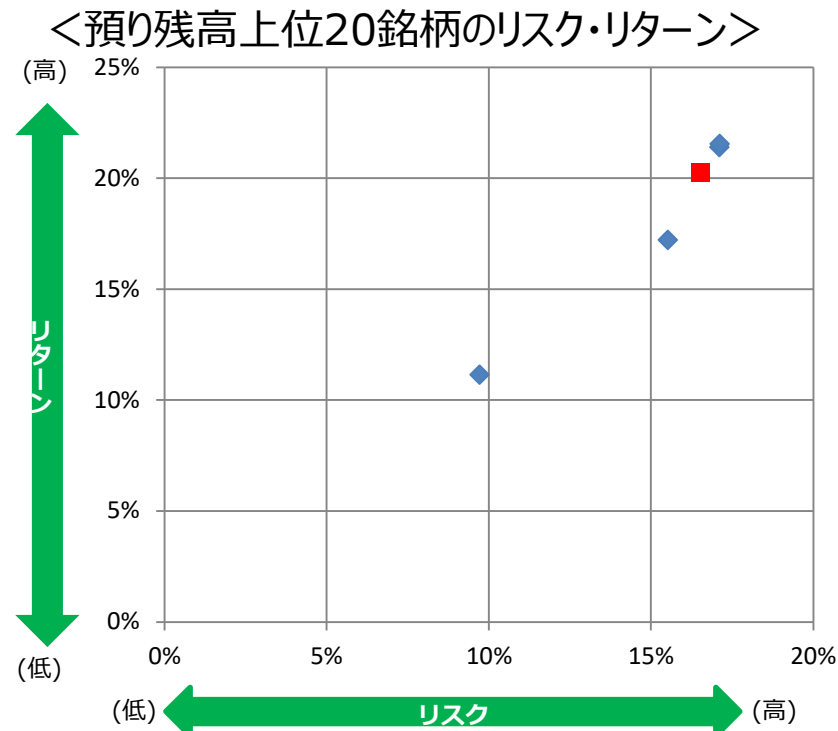
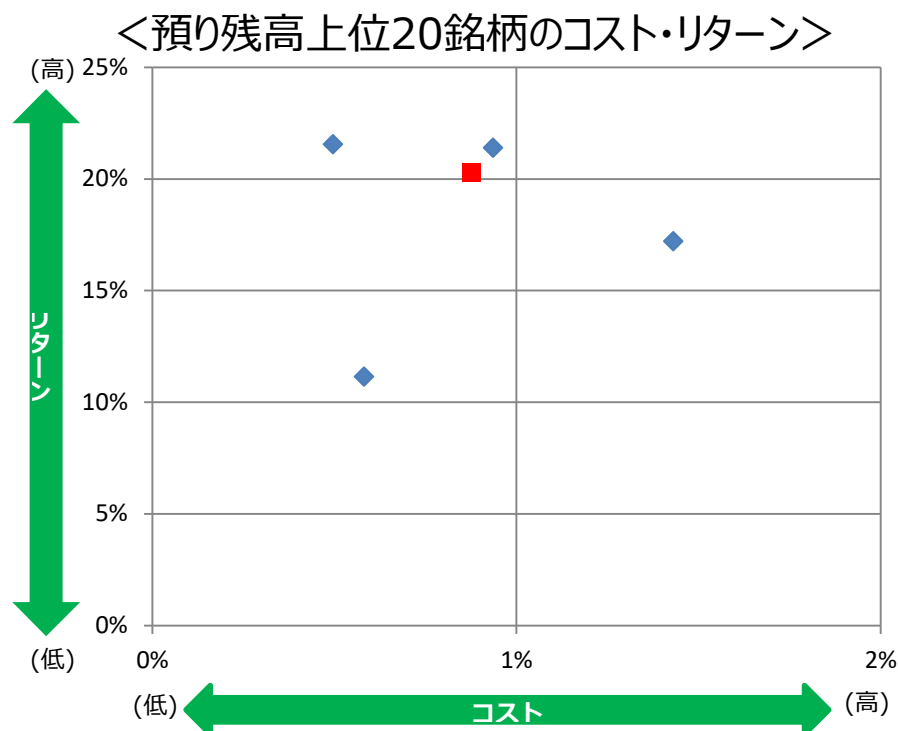


※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/2) (2024年3月末)

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.88%、平均リスク16.52%に対して、平均リターンは20.27%となりました。



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/2）（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	19.14%	14.48%	1.43%
2	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.62%	16.15%	0.94%
3	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.77%	16.16%	0.50%
4	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.93%	8.59%	1.16%
5	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	12.76%	9.29%	0.58%
6	おおぶねグローバル(長期厳選)	農林中金バリューインベストメンツ(株)	14.63%	13.58%	0.66%
7	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.19%	15.67%	0.39%
8	おおぶねJAPAN(日本選抜)	農林中金バリューインベストメンツ(株)	10.52%	12.27%	1.21%
9	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.96%	15.62%	0.91%
10	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	17.77%	13.93%	1.54%
11	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-2.36%	2.41%	0.26%
12	バイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	20.35%	26.74%	2.08%
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		18.41%	14.02%	1.02%

※ 2025年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は12本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/2) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全連アセットマネジメント (株)	21.40%	17.11%	0.94%
2	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全連アセットマネジメント (株)	21.55%	17.11%	0.50%
3	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全連アセットマネジメント (株)	17.22%	15.52%	1.43%
4	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信 (株)	11.15%	9.72%	0.58%
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		20.27%	16.52%	0.88%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は4本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。